

1 . 調 査 報 告 概 要 表

【認知症対応型共同生活介護用】

作成日 平成 2 0 年 7 月 1 8 日

【評価実施概要】

事業所番号	2 7 7 4 9 0 1 1 6 5
法人名	社会福祉法人 華芯会
事業所名	ジェントレス宮
所在地	富田林市宮町 1 丁目 3 番 5 号 (電 話) 0 7 2 1 - 2 6 - 3 5 3 1
評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺 1 丁目 1 番 5 4 号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 2 0 年 7 月 7 日

【情報提供票より】(平成 2 0 年 6 月 2 0 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 1 6 年 1 1 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 6 人, 非常勤 3 人, 常勤換算	8. 8 人

(2) 建物概要

建物構造	木 造り		
	1 階建ての	1 階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	5 5, 0 0 0 円	その他の経費 (月額)	4 0, 0 0 0 円
敷 金	有 (円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (2 0 0, 0 0 0 円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	3 0 0 円	昼食 4 5 0 円
	夕食	4 5 0 円	おやつ 1 0 0 円
	または 1 日当たり 1, 3 0 0 円		

(4) 利用者の概要 (平成 2 0 年 6 月 2 0 日現在)

利用者人数	9 名	男性 4 名	女性 5 名
要介護 1	1 名	要介護 2	1 名
要介護 3	3 名	要介護 4	3 名
要介護 5	1 名	要支援 2	0 名
年齢	平均 8 6. 3 歳	最低 7 3 歳	最高 9 7 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人 岡本内科クリニック
---------	----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

保育所運営など地域で活躍してきた社会福祉法人が設立した 1 ユニット 9 人の家庭的なホームです。「お宮さん」が近くにある、のどかで由緒ある地域に立地し、広々とした敷地に平屋建てで、ゆとりが感じられます。利用者は緑豊かな風景を居室から見ることができ、玄関には鍵をかけていないので自由に外へ出ることができます。利用者は職員とともに熱心にリハビリをして歩けるようになったり、運営推進会議に出席して意見を述べたり、積極的に外出して隣人との出会いを楽しんだり、近くのお宮さんへ参拝したり、全員参加の「栄養献立会議」で意見を出しあったり、お祭りなど地域行事に参加をしたり、学童や保育園児と交流するなど、落ち着いた中にも活気ある生活が見受けられます。家族会があり運営に関しても積極的な意見を出されるなど、家族との協力関係が良いホームです。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況 (関連科目：外部 4)
	前回評価の改善課題は 2 項目でした。具体的には①理念の具体化②職員研修についての改善ですが、評価終了後改善に取り組み、今回調査時点では改善が終了しています。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目：外部 4)
	管理者は職員が外部評価の意義を理解し改善に取り組めるように説明をしています。職員は外部評価の意義を理解した上で改善に取り組んでいます。また、今回の自己評価票作成については全職員の意見を反映するように努め、その経過を記録に残しています。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目：外部 4, 5, 6)
	主な討議内容は 1) ホームからの報告 (新年度役員紹介・利用者状況・サービス提供状況・行事予定・事故報告) 2) 出席者の要望・助言・意見交換 (サービス提供内容に満足している・職員が気付かなくまま利用者が一人で外出されたことへの対応についての改善提案・近所付き合いの重要性・ボランティア受け入れ・口腔ケアについて) などです。会議で助言を受けた内容については早速改善を行いサービスに活かしています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目：外部 7, 8)
	毎月定期的に「じえんとれす」通信を家族等へ送付しています。通信には利用者の写真を挿入し日常生活の様子をわかりやすくする、行事予定や案内を掲載するなどの工夫をしています。家族が来られたら利用者の様子を報告し、積極的に意見や要望を聞いています。また家族会に出席し、ホーム全体の報告をする、意見・要望を傾聴するなどにも努めています。ホーム内に「苦情相談受付箱」を設置し、気軽に相談できる雰囲気作りをしています。ホームでは利用者の金銭預かりは行わず、必要なものは立て替えて購入し、領収書を提示して金銭を受領しています。
重点項目④	日常生活における地域との連携 (関連項目：外部 3)
	法人として自治会へ加入しており、ホーム職員が地域の寄り合いに参加するなど、地元と交流のあるホームです。地域の保育所や学校行事への参加交流、中学生のボランティア実習受け入れや地元お祭りなどの行事参加、消防防災避難訓練での相互協力、近隣住民との日常的なお付き合いなど、地元の理解を得たホーム運営をしています。

2. 調 査 報 告 書

(部分は重点項目です)

外 部	自 己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続ける ことを支えていくサービスとして、事 業所独自の理念をつくりあげている	ホーム理念は「『自分たちが利用者だったら』 を常に考えたサービス提供を行う」としてい ます。理念は「地域社会や家族との信頼関係 の強化と維持に努めます」と運営方針に具体 化し、地域での暮らしを支えることを明確に しています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念 の実践に向けて日々取り組んでいる	理念はホーム内に掲示しています。管理者と 職員は会議等で理念を確認しながら、運営方 針として5つの項目に具体化した内容の実践 に取り組んでいます。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員 として、自治会、老人会、行事等、地 域活動に参加し、地元の人々と交流す ることに務めている	法人として自治会へ加入しており、ホーム職 員が地域の寄り合いに参加するなど、地元と 交流のあるホームです。地域の保育所や学校 行事への参加交流、中学生のボランティア実 習受け入れや地元お祭りなどの行事参加、消 防防災避難訓練での相互協力、近隣住民との 日常的なお付き合いなど、地元の理解を得た ホーム運営をしています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者は職員が外部評価の意義を理解し、改善に取り組めるように会議等で説明をしています。職員は外部評価の意義を理解した上で改善に取り組んでいます。また、今回の自己評価票作成については全職員の意見を反映するよう努め、その経過を記録に残しています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の規定を定め、2ヵ月に1回、年6回の開催をしています。会議記録は整理し参加者、職員間で共有しています。会議には利用者代表、家族会会長が出席し積極的に意見を述べています。会議で出された意見については業務に反映しサービス向上を図っています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事故報告や外部評価結果の報告等については、できるだけ早く市へ届けるようにしています。市役所へ出向く場合には担当課に相談をする、情報交換をするなど機会を有効に活用しています。地域包括支援センター職員とは運営推進会議の場だけではなく研修や地域交流会等の場を通じて日常的な連携を深めています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月定期的に「じえんとれす」通信を送付しています。通信は利用者の写真等を掲載して、日常生活状況をわかりやすく報告しています。また、来月の行事予定や案内を掲載し活用しやすくしています。家族が来訪された場合には管理者が利用者の体調の変化などを報告しています。当ホームでは利用者の金銭預かりは行わず、必要なものは立て替えて購入し、領収書と引き換えに金銭を受理しています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が来られたら積極的に意見や要望を聞くようにしています。また、家族会に職員が出席し、ホーム全体の報告をする、意見・要望を傾聴するなどに努めています。ホーム内に「苦情相談受付箱」を設置し、気軽に相談できる雰囲気作りをしています。苦情があれば記録に残し速やかに対応しています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	この1年間、職員の異動は最小限に留めています。異動後は引き継ぎ期間を十分に設け利用者への影響が無いように、馴染みの職員が安定したサービスを供給するように配慮しています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	全職員が研修に参加できるように取り組んでいます。ホームでは年6回以上の外部研修を受講しており、その内容には認知症の対応、感染症・食中毒予防、応急手当などが含まれています。受講者は研修内容を会議等で報告し共有しています。その他、会議等の時間を活用して内部研修を行っています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	運営者はサービスの質の向上を図ることを目的とする同業者との交流や連携の必要性を認識しています。地域の事業者連絡会への参加はもちろんですが、近隣のグループホームとの自主的な交流や事業所体験スタッフ交換研修などに取り組んでいます。大阪認知症高齢者グループホーム協議会の会員であり、新しい情報の収集や研修への参加を行うなどサービスの質の向上に努めています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者が納得してサービスを利用できるように配慮しています。施設見学はもちろん、体験入居をすすめ安心して入居できるようにしています。また、必要な場合には利用者の自宅にも事前訪問を行い、支援内容の充実に努めています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学び支えあう関係を築いている	利用者一人ひとりがホーム内での役割を持って過ごされています。職員は利用者から調理や味付け、冠婚葬祭のしきたりなどを教えてもらうこともあり、助けあう関係を大切にしています。誕生日や長寿のお祝いなど、喜怒哀楽を共にしています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	何かを行う場合には必ず本人の希望や意向を尊重しています。特に食事については月1～2回、利用者全員参加を基本にした「栄養献立会議」を開催しています。意見が出にくい利用者については日常会話の中で希望を聞く、家族からの情報を参考にして意向を確認するなどしています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	介護計画作成時や見直し時にはアセスメントを行っており、利用者の求めていることや家族の願いを反映した介護計画書を作成しています。職員は「利用者に適した支援は何か」を把握するために、月2回のケアカンファレンスを行い記録に残しています。また職員間で日常的に意見交換や情報交換をしながら、介護計画書に連動したケア実践と記録を残しています。介護計画書は利用者、家族等への説明を行った上で署名・押印をもらっています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は3ヶ月毎に見直しを行っています。見直し時期以外にも必要があれば速やかに見直しを行い、利用者の変化に応じた介護計画書を作成しています。適宜、アセスメント表、モニタリング記録、カンファレンス記録を作成し職員間で共有しています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	同法人保育所との日常的な交流を行い、菜園での植え付けや収穫などを共にして、園児に教え、喜び合うなどの体験を支援しています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者がそれぞれに、専門医やかかりつけ医療機関で医療が受けられるように、希望を尊重した支援をしています。受診方法や結果の報告、共有などについても希望に応じて対応しています。協力医療機関との連携を強化し定期的な訪問診療が受けられるようにしています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居に当たっての留意事項としてホーム方針の説明をしています。基本的には身辺自立ができなくなった利用者や入院を要する利用者はホームでの対応が困難とする方針について合意を得ています。状態が急変した場合にはその都度、利用者家族、かかりつけ医師と調整して希望に添った方針を明記しています。方針については家族の署名または押印をしてもらい共有しています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりを大切にした対応や言葉かけをしています。個人情報の取り扱いについては文書を定め、職員採用時には守秘義務の徹底について書面で確認し、職員の押印を得ています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりが自分のペースで、好きなことができるように配慮しています。ホームの大まかな日課はありますが、利用者の体調や気分に合わせて支援をしています。特に食事時間等は周囲に影響されず、時間をかけてゆっくり食べられるように配慮しています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	月1～2回、利用者の全員参加を基本にした「栄養献立会議」を開催しています。みんなで考えた献立に添って買い物に行き、調理の得意な利用者を中心に食事づくりをしています。また、外食の希望も出し合い、月に1回程度は外食に出かけ楽しんでいます。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3回、2日に1回の割合で入浴支援をしています。希望すれば毎日でも入浴できます。お風呂を好まれない利用者もありますが、気分を変えて入浴に誘う、家族から入浴を勧めてもらうなどの工夫をしています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	献立作りや食事づくり、菜園作り、リハビリ体操、運営推進会議への参加などで力を発揮したり、散歩、買い物、外食に出かけ楽しんだり、絵画、書道、編み物に取り組んだり、楽しみごとはそれぞれ異なりますが、職員は利用者の希望に添った支援をしています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物、近隣散歩、外食会でレストランを利用する、理美容院へ出かける、菜園作りをする、同法人の保育園児と交流するなど利用者の希望を大切に、気軽に出かけられるような支援を心掛けています。外出の記録が実態より少ない傾向があります。短時間の散歩などについても「外出」として記録に残しておくとういのではないのでしょうか。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関や各部屋の庭に面した扉には鍵はかけていません。利用者は自由に戸外へ出ることができます。利用者が外へ出られる場合には職員が意向を察知して同伴するようにしていますが、最近一人で外出された方もあったため、扉にチャイムを付け外出される場合には職員が察知できるように改善しています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策の手順書を作成しています。昨年は消防署の協力を得た消防、避難訓練は行っていません。今年は5月に消防署の指導のもとに近隣・自治会等の協力を得た消防・避難訓練を行っています。また、災害発生時に使用できるように非常食を保管しています。	○	年2回の消防・防災避難訓練を行うことが求められます。本年度中にはホーム独自の消防・防災避難訓練にも取り組むことが求められます。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量は三食ともに把握し、水分摂取量は大まかに把握をしていますが、必要な場合には水分排泄チェック表と連動した詳細な記録をしています。栄養バランスについてはかかりつけ医師や法人理事長（看護師）に相談するなど、専門家の助言を受けた献立を作成しています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有部分はゆったりとして家庭的です。居間にはソファを置き、玄関や廊下にはイスを置き利用者がゆっくりできる居場所の確保をしています。トイレ、洗面台は車イスでも対応できるようにしています。自室からの見晴らしもよく、周辺は緑がいっぱいで季節感のある生活空間を設けています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者は居室になじみの机やイス、仏壇、タンス、テレビ、時計などを置き、手作り作品や写真を飾るなどそれぞれに個性的で清潔感のある居室にしています。室温については共有部分を中心に空調を行い、居室にも行きわたるように入口の戸を開けて調節しています。		